

# 令和8年度小中一貫重点目標

「自ら問い、言葉でつながり、しなやかに挑み続ける」

～ 心の中に「やってみたい！ やってみよう！」の火を灯そう～

# 学校だより

令和8年4月30日発行

佐呂間町立佐呂間中学校

文責 校長 太田 依里

## 郷土愛を育む「さろま学」の9年間

「繋がる（1年生）」⇒「支える（2年生）」⇒「創る（3年生）」

興味をもったらどこまでも突き進んでいくことも、佐中生の良いところの一つ。そんな佐中生が夢中になって取り組む「さろま学」（総合的な学習の時間、ふるさと学習）。昨年度の3年生から提案された佐呂間町活性化案は、町長や教育長をも唸らせる仕上がりとなりました。

今年度は、9年間のつながりをより強く意識し、小学校で学んだことや経験したことを生かしながら、地域の人々と学び、社会や地域づくりに貢献できるさろまっ子の育成を目指します。

1年生「さろまと繋がる」～高齢者福祉に関する体験や講話 あすチャレスクール

2年生「さろまを支える」～警察・消防・役場で働く方々からの講話

3年生「さろまを創る」～地域活性化案 修学旅行でのPR活動

## 教科横断的な学び

色々な教科で学んだこと（例えば、調べ方・書き方・計算の仕方・伝え方）を生かすこと。さろま学を通して学んだことを色々な教科に生かすことを「教科横断的な学び」といいます。

佐呂間の豊かな教材（ヒト・モノ・コト）を味わい尽くしながら、知識を知恵に進化させていきます。

## 「ふるさと教育」の推進～人づくり・つながりづくり・地域づくりの循環～

さろまのヒト(人材)・モノ(自然・歴史・産業等)・コト(体験)を  
さろま人とともに学び、社会や地域づくりに貢献できる子どもの育成



- ・日本社会に根差したウェルビーイングの向上
- ※地域の人のWBも向上
- ・こどもまんなか社会の実現
- ※社会全体でこどもを支える

### 1. 背景及び現状

#### 〈求められる資質・能力〉

少子高齢化や人口減少、それに伴う地域活力の低下等が懸念され、かつ変化が激しく予測が困難な時代となっている。このような時代に求められる資質・能力は、「地域の課題を発見し、解決に向けて主体的、協働的に取り組み、新たな価値を創出できる力」である。

#### 〈現代社会におけるふるさと教育の意義〉

世界がより身近になり、世界と日常的につながっている今、ふるさとについて学ぶ意義は、子どもたちにとって生きていく支えとなり、夢や志を持って行動する原動力となるだけに留まらない。世界がより狭くなっている中で、ふるさとの課題解決はグローバルな視点を持ちながら検討する必要がある。

#### 〈佐呂間町の児童生徒の現状〉

これまでも各教科等で佐呂間町について学んでいるが、主体的にふるさとに関わり地域社会の中で行動しようとする意欲は低い傾向



### 2. 考え方・方向性

佐呂間町の自然、産業、歴史・文化等について、地域住民との関わりを通して、「ふるさとさろま」に対する誇りと愛着を育み、地域社会の一員として「ふるさとで生きる」価値を実感

視点：時間軸（現在・過去・未来）  
空間軸（佐呂間町・道内・国内・外国）

ICTの利活用

#### 【育てたい資質・能力】

- ・本物体験等を通じて「ふるさとで生きる」価値の実感
- ・ふるさとのよさを実感し、価値付け、発信する力
- ・ふるさとの課題を発見し、多様な他者と協働して解決する力

### 3. 「さろま学」の学び

本物体験(学びの原体験)：①なぜ発信、②没頭体験、③五感活用

#### 実感(地域を知る)※本物体験

#### 思考(地域を考える)※本物体験(一部)

#### 創造(地域を創る)

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
食育	<p>【わくわくどきどきしょうがっこう】 ・小学校生活でやってみたいことを考えたり伝え合ったりしよう</p> <p>【きれいにさいてねわたしのはな】 ・植物の成長の様子を伝え合おう</p> <p>【させつとなかよし】 ・見つけたことや楽しかったことを伝えよう</p> <p>【まちが大好きたんけんたい】 ・まちをたんけんして、感じたことやもっと知りたいことを伝え合おう</p> <p>【目ざせ野ざい作り名人】 ・野ざいをそだてて思ったことや考えたことを伝え合おう</p>	<p>私たちの町自慢①【サロマのほろや】 ○学習過程 ・課題の設定 ※なぜホトチャ 身近な「？」 ・情報の収集 ※歴史、栽培方法加工 ・整理・分析 ※必要が際立つの味 ※情報の比較・検討 ・まとめ・表現 ※芸術祭の児童へのプレゼン ○本物体験 ・栽培体験 ・調理体験 ・佐呂間大収穫祭 ※ハロウィン ○人材活用 ・佐呂間町長(役場) ・JAサロマ ・畑作業家 ・商工会 ※各農町の連携</p>	<p>私たちの町自慢②【サロマのホタテ】 ○学習過程 ・課題の設定 ※なぜホタテ 身近な「？」 ・情報の収集 ※歴史、栽培方法加工 ・整理・分析 ※必要が際立つの味 ※情報の比較・検討 ・まとめ・表現 ※地域の方へのプレゼン ○本物体験 ・植樹、漁業体験 ・調理体験 ・佐呂間大収穫祭 ※ハロウィン ○人材活用 ・佐呂間町長(役場) ・佐呂間漁協 ・水産事業者 ・商工会</p>	<p>私たちの町自慢③【サロマの鶏籠・畜産】 ○学習過程 ・課題の設定 ※なぜ鶏籠、畜産 身近な「？」 ・情報の収集 ※歴史、栽培方法加工 ・整理・分析 ※必要が際立つの味 ※情報の比較・検討 ・まとめ・表現 ※町長へのプレゼン ○本物体験 ・飼育、搾乳体験 ・調理体験 ・佐呂間大収穫祭 ※外国とのつながり 輸出先、配合飼料 ○人材活用 ・佐呂間町長 ・佐呂間保課 ・JAサロマ ・酪農家 ・商工会</p>	<p>私たちの町自慢④【持続可能なまち】 ○学習過程 ・課題の設定 ※どのように食を盛り上げる？ ・情報の収集 ※歴史、環境、国際理解、SDGs ・整理・分析 ※必要が際立つの味 ※情報の比較・検討 ・まとめ・表現 ※プレゼン対象者を考える ○本物体験 ・修学旅行・収穫祭 ハロウィンナイトで、町内外の人に良さを広める ○人材活用 ・佐呂間町長 ※夜場関係課 ※SDGs</p>	<p>ふるさと教育①【姉妹都市交流】 ○学習過程 ・課題設定 ※パーマと日本の食について ・情報の収集 ・パーマ生徒との交流 ・まとめ・表現 ※パーマ生徒に向けた英語の発表資料作成、発表撮影、撮影データによる交流。 ○佐呂間町のキャリア ・中1 佐呂間町についての理解を深める ・中2 佐呂間町の現状を基にした課題を持つ ・中3 佐呂間町活性化プレゼン作成 ○佐呂間町の福祉・防災 ・福祉：佐呂間町の高齢化や老人福祉についての理解を深める。 ・防災：中1 自然災害を学ぶ(網走気象台) 中2 避難所設置方法を学ぶ(役場) 中3 避難所運営方法を学ぶ(振興局)</p>	<p>ふるさと教育②【姉妹都市交流】 ○学習過程 ・課題設定 ※パーマと日本の遊びについて ・情報の収集 ・パーマ生徒との交流 ・まとめ・表現 ※パーマ生徒に向けた英語の発表資料作成、発表撮影、撮影データによる交流。 ○佐呂間のこれから ・ふるさとへの提案 ・9年間の学びのゴール(9年間の学びに必要感) ・9年間、本物体験を通してふるさとについて学んだ子どもたちが、佐呂間のこれらをしつくりと考え、提案</p>	<p>ふるさと教育①【姉妹都市交流】 ○学習過程 ・課題設定 ※アララカと佐呂間の歴史について ・情報の収集 ・パーマ生徒との交流 ・まとめ・表現 ※パーマ生徒に向けた英語の発表資料作成、発表撮影、撮影データによる交流。 ○佐呂間のこれから ・ふるさとへの提案 ・9年間の学びのゴール(9年間の学びに必要感) ・9年間、本物体験を通してふるさとについて学んだ子どもたちが、佐呂間のこれらをしつくりと考え、提案</p>	

異文化理解

言語活動

- 「情報活用能力育成に係る系統表」を踏まえた取組
- ・一人一台端末を効果的に利活用
- ・Web会議アプリを活用した交流学習

- 食育
- ・地産地消や自然の恩恵、勤労などへの感謝や食文化を意識した学習

- 異文化理解
- ・道内、国内、海外とのつながりや比較を意識した学習

- 言語活動
- ・目的意識、相手意識
- ・地域住民との対話の量や協働の学習

## 始業式・入学式 4月6日(月)



30名の1年生を迎え、新年度がスタートして1ヶ月が経ちました。貫禄が出てきて、少し先輩らしくなった2・3年生と、まだ佐中生になりきれず、手探り状態で学校生活を送る1年生。

運動会に向けた取り組みもスタートし、にわかにあわただしさも感じます。今年は102名の佐中生がどんなドラマを生み出すのか、楽しみでなりません。

### 新入生代表 山前 萌愛さん 誓いのことばより(抜粋)

私たちは今、新しい制服に袖を通し中学生としての第一歩を踏み出しました。今年度、佐呂間小学校、浜佐呂間小学校、そして私の母校である若佐小学校の3つの学校からここ佐呂間中学校へと集まりました。私たちは以前から交流学习や修学旅行を通して、学校の垣根を越えて交流を深めてきました。中学校は生活のきまりや行事などの変化も大きく、新しい教室や人間関係など、新しい生活への緊張もありますが、それ以上に気心の知れた仲間たちと一緒に新しいスタートを切れることを、とても心強く、楽しみに感じています。

### 生徒会長 久須田 美耶さん 歓迎の言葉より(抜粋)

1つ私からお願いがあります。「自分はこういう性格だから」と決めつけないでください。新しい教科、新しいスポーツ、新しい友達との出会いを楽しんでください。どんなことでも恐れず何事にも挑戦してみてください。

### 入学式 PTA会長 河井 裕樹様の祝辞より(抜粋)

「なんで勉強しなきゃいけないの？」この質問に、あるお母さんは机に水の入ったコップを置いてこう答えました。

「算数を学べばこの中に200mlの水があるということ」が数字でわかる。

「理科を学べばこの水は水素と酸素からできていること」がわかる。

「社会を学べばこの水がどこから来たのか」がわかり

「そしてこの世界にはきれいな水を飲むことができない人たちがいる」ことを知る。

「美術を学べばこの水の反射をきれいに描くことができる」ようになるし

「音楽を学べば同じコップでも水の量で音を変えられること」に気付くことができる。

「技術を学べばこのコップがどんな素材でなぜ漏れないか」が分かり、人の創造のすごさを知ることができる。

「保健体育を学べばこの水が体にどれだけ大切なのか」健康を支える命の正体が見えてくる。

「道徳を学べばこの水を誰かと分け合うことの大切さ」を学べて思いやりの心が育つ。

「国語を学べば、今私が話した“全部の意味”を“正しく”理解できる」ようになる。

「英語を学べばこの話を世界中の人と分かち合える」ようになる。

「哲学を学べばこの話に何の意味があるのか」を考えられるようになる。

でも、もし何も学ばなかったら…

「このコップの中にあるのはただの水」で終わる。

だから勉強するの。

## 新入生を迎える会 4月7日(火)

新入生に生徒会活動・行事・部活動の様子を伝え、1日も早く佐中生らしくなってもらいたい！という先輩たちからの後輩愛で企画された迎える会。工夫を凝らしたプレゼンとあたたかい雰囲気で行進し、佐中生のよいところをたくさん見ることができました。



生徒会書記局の紹介

先輩たちの努力の甲斐があって、28名の1年生が各部活動に入部届を提出し、活動に活気が増えています。

各学級の組織も決定し、係活動がスタート。生徒会書記局は5月7日(木)の生徒総会に向けて着々と準備を進めています。

部活動紹介(野球部)



**女子バレー部 久保杯優勝！ 4月25日（土）**  
**会場：紋別市スポーツセンター**

新入部員5名を迎えての初試合。上湧別学園・ゆうべつ学園・佐呂間中学校合同チームで幸先の良いスタートを切っています。

《対戦成績》

予選グループ戦	対 興部・雄武 B	○2-0
	対 興部・雄武 A	○2-0
決勝トーナメント	対 紋別	○2-0
	対 遠軽	○2-0



**男子バスケットボール部 MCリーグ1位通過！ 4月26（日）**  
**会場：佐呂間中学校体育館**

新入部員9名を迎え、久々の大所帯となった男バスは、中体連のシードにもつながるリーグ戦を、5チーム中1位で通過しました。

《対戦成績》

	対 光西・東相内	○33-26
	対 紋別クラブ	○33-27

**ご協力をお願いします ～保護者向け文書の配布方法について～**

PTA 総会でお話した通り、今月号から学校だよりを紙とマチコミの両方を使ってご家庭に配布します。ペーパーレスと確実な情報発信という観点から、保護者向け文書の配布について電子化（すべてマチコミ）を検討していますが、迷いもあります。

一定の期間、紙とマチコミの両方で配布したのち、アンケートを実施して決定する予定です。

《電子化することへの心配》

- ・生徒に「預かったものを確実に届ける」（責任感）ということを指導する機会が減ってしまうのではないかと
- ・マチコミへの着信が増えることで、緊急時の連絡と区別がつきにくくなるのではないかと
- ・親子で学校だよりを見ることができなくなるのではないかと

**5月の行事予定**

**1日(金)全国学力・学習状況調査**

英語 話すこと

**2日(土)開校記念日**

**7日(木)生徒総会**

**8日(金)常任委員会**

特支入学・進級おめでとう会

尿検査2次

**12日(火)CRT**

職員会議(5時間授業・部活なし)

**13日(水)心臓検診 1年生**

あおぞら号

**15日(金)スクールカウンセラー来校日**

**22日(金)スクールカウンセラー来校日**

**23日(土)運動会**

**25日(月)振替休業日**

**27日(水)あおぞら号**

**28日(木)避難訓練**

**29日(金)英語検定**



**お知らせ**

**6月1日より「衣がえ」準備期間とする予定です。時期が近づきましたら改めてお知らせします。**

## 子ども支援センター相談窓口のご紹介

主な相談窓口（北海道）		中学生・中学部生・高校生・高等部生用②		
名称	所管等	電話番号等	受付	概要
少年サポートセンター 「少年相談110番」	北海道警察	0120-677-110	平日8:45～17:30	いじめ・犯罪・児童虐待等の被害に悩む子どもやその家族が警察に相談できます。
こころの電話	北海道立精神保健福祉センター	0570-064-556 (全国共通ナビダイヤル)	平日9:00～21:00 土日祝10:00～16:00 (12/29～1/3除く)	様々なこころの悩みを相談できます。
		011-864-1294 (直通) ※札幌市民以外の道民対象	平日9:00～17:00 (12/29～1/3除く)	
北海道こころの健康SNS 相談窓口	北海道保健福祉部		平日、土曜日、祝日 18:00～23:30 日曜日 18:00～翌朝6:00	日常生活や学校生活に関する悩みを相談できます。
性暴力被害者支援センター 北海道 (SACRACH さくらこ)	NPO法人ゆいネット北海道	050-3786-0799 または、全国共通 ダイヤル#8891	平日10:00～20:00 (土日祝祭日、12/29 ～1/3除く)	子どもや大人が性暴力等の被害について相談できます。  LINEでの相談も可 (右の二次元コード)
		sacrach20191101@leaf.ocn.ne.jp (メール)		
北海道ヤングケアラー相談 サポートセンター	北海道保健福祉部	0120-516-086 (電話)	受付時間 平日 8:45～17:30	ヤングケアラーに関する相談ができます。
		hokkaido.young.carer2022@gmail.com		
		080-9612-1247 (ショートメール専用)		
		facebook.com/hokkaido.young.support (Facebook)  @youngcarer2022 (YouTube/Twitter)		

主な相談窓口（北海道）		中学生・中学部生・高校生・高等部生用①（令和8年4月）		
名称	所管等	電話番号等	受付	概要
北海道子ども相談支援センター (24時間子供SOSダイヤル)  (メール相談)	北海道教育委員会 (文部科学省)	0120-3882-56 (0120-0-78310)	毎日24時間対応	いじめ、不登校、友人関係、親子関係、性的マイノリティ、性暴力の被害、家庭の事情で自分の時間がとれない、ヤングケアラーに関する事など、様々な悩みを相談できます。
ほっかいどう子どもライン 相談	北海道教育委員会		令和8年5月18日～ 令和9年3月29日 の月曜のみ 17:00～22:00	いじめ、不登校、性暴力の被害など、様々な悩みを相談できます。 対象：中学生、高校生 左記以外の相談期間 5/1～5/12毎日17:00～22:00 8/6～9/16毎日17:00～22:00 1/7～2/1毎日17:00～22:00
児童相談所虐待対応ダイヤル	北海道保健福祉部 (厚生労働省)	189 (いちはやく)	毎日24時間対応	虐待の疑いがあるなど、虐待に関する悩みを児童相談所に通告・相談できます。
親子のための相談LINE	北海道保健福祉部 (厚生労働省)		平日9:00～17:00 (12/29～1/3除く)	いじめ、不登校、ヤングケアラー、虐待など様々な家族・家庭の相談ができます。
北海道いのちの電話	社会福祉法人 北海道いのちの電話	011-231-4343	毎日24時間対応	様々な悩みを相談できます。
こどもの人権110番	法務省	0120-007-110	平日8:30～17:15	いじめ・体罰等について、法務局職員・人権擁護委員に相談できます。
チャイルドライン	認定NPO法人 チャイルドライン ほっかいどう	0120-99-7777	毎日16:00～21:00 (12/29～1/3除く)	18歳までの子どもが電話・チャットで様々な悩みについて相談できます。